

区立幼稚園の現状課題・公立幼稚園のあり方を踏まえた今後の方向性

※ 1 『今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に
関する有識者検討会最終報告』（令和 6 年10月）

区立幼稚園の現状課題	公立幼稚園のあり方（※1）
※ R7第1回検討 委員会資料抜粋 区立幼稚園を取り 巻く現状・課題 急速な少子化、保 育需要の増加等に 伴う園児数の減少 障害児の受入数・ 割合の増加や 相談件数の増加 早期段階からの保護者 の相談ニーズの増加 連続した育ち・学び の必要性の高まり	●国の報告書には、幼稚園は重要な幼児教育施設であり、<u>公立園には地域の拠点園として重要な役割</u>があることが明記 ●とりわけ、<u>幼稚園教育要領の実践、障害児等の教育機会保障、子育ての相談拠点、幼小連携の主導的役割</u>について、記載 今後の幼児教育施設の あり方（要旨抜粋） ●現在、<u>人格形成の基礎を培う重要な幼児教育</u>が国 公私立の幼児教育施設において行われている。 ●<u>公立幼稚園は、これまで地域の幼児教育の質向上 において重要な役割</u>を果たしてきており、<u>今後も その役割を果たすことが重要</u>である。 ●国は、家庭や地域の状況に関わらず<u>全ての子供に 格差なく質の高い幼児教育を保障</u>するという観点 などから、支援を行う必要がある。 ●幼児教育施設には、<u>保護者の子育てに対する相談 や情報提供、保護者同士の交流の場などの地域活 性化の観点から重要な役割</u>がある。 公立幼稚園の役割等 （要旨抜粋） ●<u>幼児教育の拠点園</u>として、地域に<u>幼稚園教 育要領の趣旨や実践を浸透</u>させる役割 ●<u>公立園の役割を果たすために、3年保育・ 預かり保育の実施</u>など、地域の実情や保護 者のニーズを踏まえた検討が必要 ●<u>障害のある幼児や外国籍等の幼児</u>を含むす べての幼児に<u>質の高い幼児教育の機会を保 障</u>する役割 ●幼児教育の重要性や幼児期の発達の特徴を 踏まえた<u>日々の教育活動</u>について、<u>地域に 発信</u>する役割 ●<u>小学校以降との円滑な接続</u>を図るため、<u>域 内の小学校と幼児教育施設等をつなぐ結節 点</u>となり、主導する役割

区立幼稚園の今後の方向性

- 区立園における園児数の減少はあるものの、国が示すとおり公立園の役割は極めて重要。
区の実情や保護者のニーズ等を踏まえ、区立園による教育を今後も継続提供していくための方策を検討する。

☞今後の区立幼稚園の検討に当たっては、上記の方向性を基に、以下4点の方針に基づき検討を行う。

①質の高い教育の提供継続

②配慮を要する幼児の教育機会保障および早期支援

③幼小連携の主導的役割の発揮

④子育て世帯に対する支援の充実

▶ ①・②については、資料2にて具体的な内容を検討

▶ ③・④については、次回以降に検討を実施